

九条北小学校 校長室だより

N0.43 令和5年3月6日



九条北小学校の児童が、「教育長表彰」を受けました。「教育長表彰」は、全国レベルの大会で活躍した等の成績を残した児童に送られます。今回の表彰を受けたのは5年生児童で、第15回びわこオープン全国ジュニアソフトボール大会で第3位の成績を残しました。児童朝会で、全校児童に紹介し、拍手を贈りました。

★ 大阪市スマホサミットからの提言 ★

玄関のところの掲示板に「大阪市スマホサミット」のポスターが掲示されていました。スマホをはじめICT機器を使う機会が増えるとともに、使い方が原因でトラブルに巻きこまれ、困ってしまうケースも増えているようです。そこで、大阪市の小学校・中学校から参加希望する代表者が集まって、自分たちでできることを考えたのが「スマホサミット」です。**今年度は、「スマホとかしこくつきあうためのルール」について意見交換したそうです。**その中から少し紹介します。

- ・スマホの依存性を防ぐにはルールが必要
- ・ルールは大人が決めるのではなく自分たちで考えて決めたい。

<時 間>やるべきことを先にしてから使う

使い時間を決めて、一日の計画を立てよう

スマホが必要ないときは電源を切る

<人間関係>グループラインの言葉遣いを考える

何か発言する前に、相手の状況を考える

<危険>知らない人に聞わない、つながらない

セキュリティ対策(フィルタリング)をする

※ご家庭のルールを話し合う時の参考にしてください！



★ 「言霊(ことだま)」～ポジティブな言葉を使おう！★

*児童朝会で、次の話をしました。

少し前の児童朝会で、「言霊（ことだま）～言葉には大きな力がある」という話をしましたが、覚えてていますか。「ことばが良いほうにも悪いほうにも影響を及ぼす」と伝えました。「ありがとう」を初めてとした「良い影響のあることば」を使いましょうと話をしましたね。

実は、言葉は、周りの人だけでなく、自分自身へも大きな影響があります。何かに挑戦しようとしたときに、困難に思えることでも、言い続けることで願いがかなったというお話もたくさんあります。何か目標を立てるときでも、「叶うといいな」と漠然と思っているより、「〇日までに〇〇を達成する」と具体的に言葉にして、何度も言ったり文字にして壁に貼っておいたりすると、効果が出やすくなります。言葉を発することでより強く目標を意識でき、努力しやすくなるのかもしれません。**こういった前向きな言葉を「ポジティブ」な言葉といいます。**

ポジティブの反対を意味することを「ネガティブ」な言葉といいます。ネガティブことばかり言っていると、悪い方向に進んでしまうことがあります。例えば、気持ちが沈んでいるときに「自分はダメだ」「何をしてもううまくいかない」などと口にしてしまうと、余計に落ち込みやすいです。ネガティブな気持ちのときでも、「何とかなる」「きっと大丈夫」などポジティブな言葉を口にていれば、元気が出てきやすくなるでしょう。

日頃からポジティブな言葉を口にする機会を増やすのがおすすめです。自然と気持ちが明るくなり、互いに良い気持ちで過ごせるはずです。

ぜひ、やってみてください。

